

『社会をひも解く』

-現代社会の課題について、背景や発生要因を考える-

社会にはさまざまな社会・福祉的課題が存在します。例えば、情報格差や孤独死などです。多くの場合、それらが発生する要因は1つではなく複数存在し、それぞれが影響し合っています。ゼミでは、これら現代社会の課題から各自の関心に基づいて研究テーマを設定し、課題の背景や当事者の心理状況などを多角的・本質的に探究します。



富樫 ひとみ

専門分野: 社会福祉学(高齢、障害、児童)、福祉心理学。

茨城キリスト教大学生生活科学部教授。博士(社会学)。大学では社会福祉分野の授業を担当。研究分野は、社会福祉学や福祉心理学で、研究テーマは、対象者の心理を包含した福祉的支援。



・**前半**:各自の研究的関心を明確化するため社会・福祉的課題などを話し合います。各回発表者を決め、関心のある社会問題や話題を提供していただき、ゼミ全体で話し合います。

・**後半**:各自の研究的関心を明確化・具体化します。各回発表者を決め、研究的関心に関する問題意識や考察の発表とゼミ全体での討論を行います。

みなさんは、どのような社会・福祉的課題に関心をもっておられますか？ほんのちょっとした関心であっても、その関心は知的探求の第一歩です。これまでの社会経験を活かして、現代社会の課題を探求してみましょう。

毎月1回土曜日 13:30~

